

設置期間	2023年4月～2025年3月			
研究課題名	生きる営みと環境問題			
(英 文)	Living Activities and Environmental Issues			
研究目的の概要 (400字程度)	<p>「環境問題の社会史的研究」班(2020・4・1～2023・3・31)は、日本の近世から現代までの環境問題について、とくに環境問題に関わる社会運動を中心に、運動が起こった現場の社会構造に注目しながら被害の現場に生きる住民の立場から環境問題とは何かを考えることを目的とした。本研究班は、その成果と課題をふまえ、山野河海におけるヒトの生きる営みを実証的に明らかにし、17世紀以来のヒトの生きる営みが、いつ、何を契機に変容し、どのような要因によって環境問題として可視化されるのか、あるいは可視化されないのかについて明らかにしていく。日本列島に限らず世界の諸地域を対象とするが、「環境先進国」という前近代日本評価の再検討と戦後の高度経済成長の位置付け、人びとの環境認識、都市と農村の関係性、環境問題につながる山野河海を開発する側の論理など「生きる営み」に重点を置いて実証的に明らかにし、環境問題とは何かについて考えていきたい。</p>			
研究会開催予定等	年10～12回 月 13:30-17:00			
No.	班長・副班長	氏 名	区分	所属
1	班長	岩城 卓二	所内	
2		石井 美保	所内	
3		KNAUDT, Till	所内	
4		小関 隆	所内	
5		小堀 聡	所内	
6		酒井 朋子	所内	
7		瀬戸口 明久	所内	
8		高木 博志	所内	
9		直野 章子	所内	
10		平岡 隆二	所内	
11		福家 崇洋	所内	
12		藤原 辰史	所内	
13		岡澤 康浩	所内	
14		石川 登	学内 (法人内)	東南アジア地域研究研究所
15		岩島 史	学内 (法人内)	経済学研究科
16		米家 泰作	学内 (法人内)	文学研究科
17		岡安 裕介	学内 (法人内)	国際高等教育院
18		ERICSON KjellDavid	学内 (法人内)	文学研究科・学際融合教育研究推進センター
19		青木 聡子	国立大学	東北大学文学研究科
20		HOLCA, Irina	国立大学	東京外国語大学
21		齋藤 幸平	国立大学	東京大学総合文化研究科
22		高橋 美貴	国立大学	東京農工大学大学院農学研究院
23		武井 弘一	国立大学	金沢大学人間社会研究域学校教育系

No.	班長・副班長	氏名	区分	所属
24		町田 哲	国立大学	鳴門教育大学大学院学校教育研究科
25		松嶋 健	国立大学	広島大学大学院人間社会科学研究科
26		池田 さなえ	公立大学	京都府立大学文学部
27		唐澤 太輔	公立大学	秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科
28		除本 理史	公立大学	大阪公立大学大学院経営学研究科
29		落合 功	私立大学	青山大学経済学部
30		関 礼子	私立大学	立教大学社会学部
31		田中 雅一	私立大学	国際ファッション専門職大学国際ファッション学部
32		比嘉 理麻	私立大学	沖縄国際大学総合文化学部
33		河野 未央	私立大学	武庫川女子大学文学部
34		林 美帆	私立大学	岡山理科大学教育推進機構基盤教育センター
35		橋本 道範	独立行政法人等公的研究機関	滋賀県立琵琶湖博物館
36		木村 あや	外国機関	ハワイ大学マノア校社会学部